

# 令和4年度放課後児童デイサービスほたる評価アンケート集計結果

対象者：令和4年度 職員 7 名（回答数： 6 名 回答率 85 %）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	活動スペースが十分あり、その活動スペースに合った利用定員を定めているか	67%	33%	0%	規定に沿い適切である。活動内容に合わせて、スペースを工夫している。専用グラウンドを設備しているので、活動の場が充実している。
	②	利用人数に対して職員の配置数は適切であるか	67%	17%	0%	規定に沿い、適切である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	各スペースは段差なく、玄関はスロープとなっている。
業務改善	④	業務改善を進めるため、目標を設定し、またその振り返りに務めているか	50%	50%	0%	ミーティングを行い、問題解決に向け話し合いをし解決法を考えている。
	⑤	利用者の家族に向けたアンケート調査を実施しその意向等を把握したうえで業務改善につなげているか	83%	17%	0%	今回のアンケートをもとにして、より改善していきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	83%	17%	0%	公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、業務改善につなげているか	33%	17%	50%	行っていない。今後、検討していきたい。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	83%	17%	0%	事業所内・外で定期的に行っている。
適切な 支援の 提供	⑨	子どもと家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	作成する立場の人以外も把握する必要がある。定期的な児童や保護者との面談を行い、計画を作成している。
	⑩	子どもの発達状況、心理的課題、養育環境、子どもの興味関心ごと、必要な情報を収集し分析を行っているか	83%	17%	0%	これからも研究して導いていく努力が必要。多様な場面から児童アセスメントを取り、情報収集を行うとともに専門知識を身につける。
	⑪	活動内容をチームで話し合い、共有しているか	83%	17%	0%	ケース会議や検討会議を行っている。
	⑫	活動内容が固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	0%	固定化しないよう創意工夫し、努めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	67%	33%	0%	利用時間に対応し活動内容を工夫してる。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせているか	83%	17%	0%	個別面談ですり合わせしながら、児童の状況に合わせた個別・集団活動を組んでいる。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	67%	17%	17%	就業後、行っている。就業時間が異なる場合など、伝わっていないこともある。確実に伝達できるよう改善していく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有しているか	50%	33%	17%	支援終了後に送迎があるので翌日になることが多い。課題となる事項は常に振り返りを行い職員からの意見を反映させて翌日に備えている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83%	0%	17%	担当スタッフを決めて行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス経過の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	定期的に行っている。
	⑲	基本的な生活習慣の習得、創作活動を通じての自己表現、地域交流による社会性の向上、活動選択し自己決定を促す等の支援を行っているか	67%	0%	17%	日々の活動を通して支援を行っている。地域交流の場を利用して社会性の向上に努めていく。
	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	67%	17%	0%	参加し、職員間の共有もできている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブルの発生時の連絡）を適切に行っているか	83%	17%	0%	学校によって対応に違いがあるが、変更等、疑問を感じた時など（行事、下校時間）学校に連絡している。保護者に協力をいただくこともある。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	50%	17%	17%	現在医療的ケアが必要な子どもはいないため連携ができていない。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	17%	67%	17%	基本的には保護者の方と共有でしている。他機関とは、必要に応じて共有できるようにしていきたい。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供をしているか	67%	33%	0%	担当者が必要に応じて対応している。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	67%	17%	17%	必要に応じて適宜行っている。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	50%	33%	17%	本社経営児童クラブと随時連携しているが今年度は活動ができていない。今後催しなどを通じて交流を行いたい。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	17%	33%	50%	出来ていない。 機会があれば参加したい。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	来所時・送迎時や電話対応などで保護者と共通理解を図っている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	33%	17%	50%	より専門性を学び、支援の向上に努めていきたい。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83%	0%	17%	保護者には契約時に詳しく説明している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%	17%	0%	事業所内で共有し事案として助言や傾聴、出来る支援をしている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	17%	33%	50%	家族参加のイベントを実施していたが、今年度は行えなかった。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	報告書を作成し、記録を明確に残した上で、迅速な対応をしています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制として、子どもや保護者に対して発信しているか	33%	33%	17%	行事予定やイベントのお知らせは配布している。
	③⑮	事業所体制として、子どもや家族の個人情報保護に十分注意しているか	83%	0%	17%	職員全員が入社時に守秘義務契約をしている。定期的に研修等で理解を深めていく。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	100%	0%	0%	配慮している。職員間での情報交換・共有も強化している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	17%	50%	33%	イベントに招待することもあるが、今年度は行えなかった。
非常時の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しているか	83%	0%	17%	策定している。緊急時に備えて対応している。わかりやすい場に置くようにする。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	年2回、定期的に行っている。(4月・10月)
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	67%	17%	17%	虐待防止委員会を設置している。年間スケジュールに基づき、事業所内・外で適切に行っていく。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	50%	17%	17%	その状況が必要な場合に備えて、研修を行い共通認識の上、説明していく。個別支援計画に明記している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	83%	0%	17%	保護者からアレルギー等を聞き取りし、対応している。わかりやすくまとめ、共有していく。
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事務所内で共有しているか	83%	0%	17%	作成している。共有し、振り返り・改善に努めている。	